



外木 守雄

日本大学歯学部口腔外科学講座口腔外科学分野
(睡眠歯科学)

睡眠外科治療のうち、顎顔面外科治療は骨格そのものの問題を解決する可能性を持っています。気道形態、粘膜性状、咬合、顔面形態の問題などその適応には様々な要素が関連してきます。

また、近年言われている Loop gain の問題なども考慮しなくてはなりません。

今回、その適応について皆様とともに考えたいと思います。